

アイエーグループ 第43期 決算説明資料

2026年5月27日

2026年8月21日修正

※修正箇所はP12・P18黄ハイライト数値

アイエーグループ株式会社

<https://www.ia-group.co.jp/>

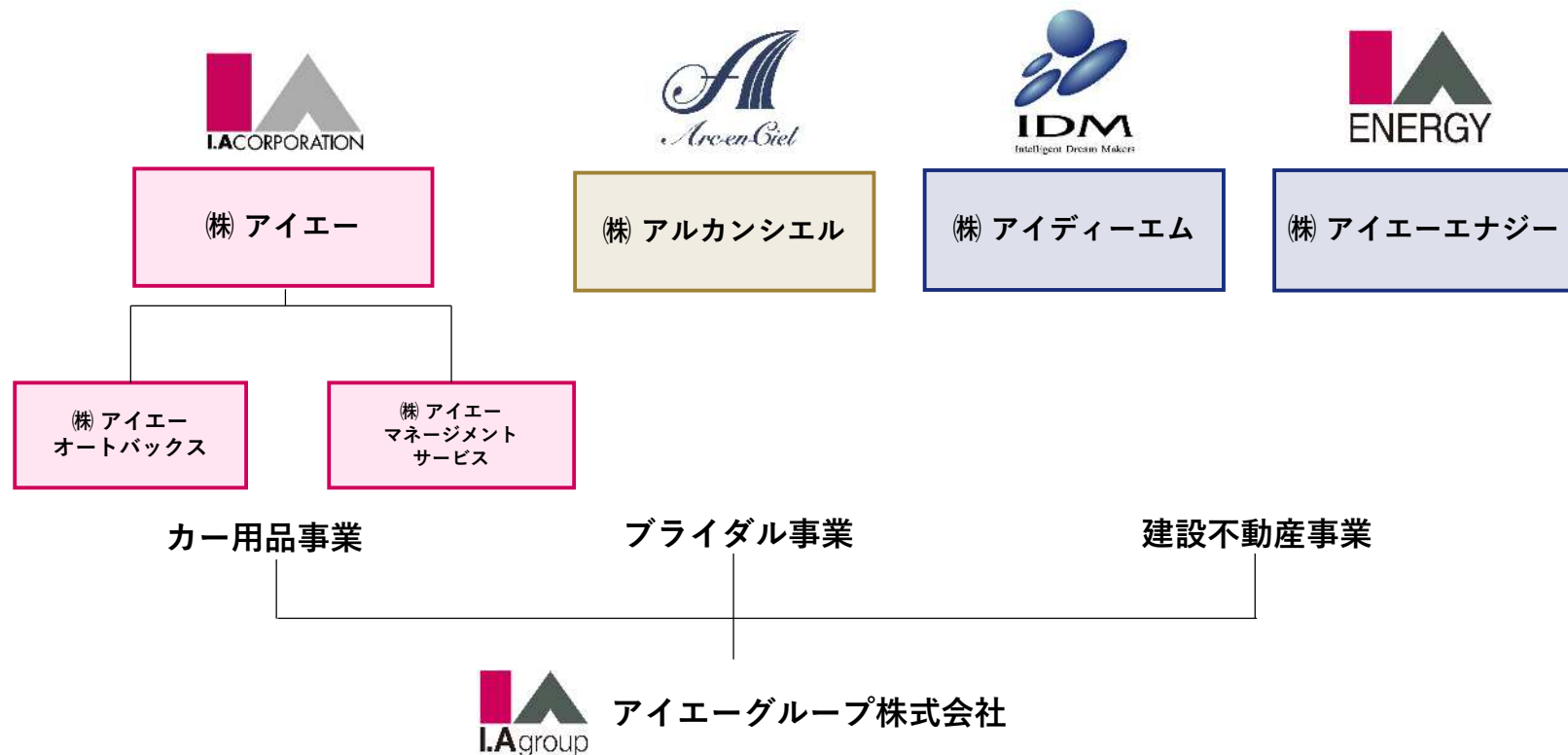


INDEX

目次

- 1 アイエーグループの構成
- 2 事業展開
- 3 2026年3月期 決算概要
- 4 2027年3月期 業績予想
- 5 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- 6 参考資料

1 アイエーグループの構成



2 事業展開（展開エリア）

東北エリア

「オートバックス」	10店舗
「スーパーオートバックス」	2店舗

東海・関西エリア

「オートバックス」	5店舗
「スーパーオートバックス」	1店舗
「アルカンシエル」	3店舗

首都圏エリア

「オートバックス」	20店舗
「スーパーオートバックス」	4店舗
「テクノキューブ」	12店舗
「アルカンシエル」	2店舗

首都圏・東北・東海・関西
合計 **グループ全社 59店舗**

「オートバックス」 **35店舗**

「スーパーオートバックス」 **7店舗**

「テクノキューブ」 **12店舗**

「アルカンシエル」 **5店舗**

2 事業展開（事業別トピックス）

カー用品事業



店舗設備への継続的な投資の実施

基幹店舗であるスーパーオートバックスかわさきにおいて、外観の美化を目的とした大規模改修工事を実施しました。他店舗においてもLED照明の更新や改修を適宜実施するほか、労務環境改善のためにピット空調機を新設するなどの設備投資を行っています。



自動車買取・販売事業の成長

オートバックス40店舗において、中古自動車の買取・販売事業を展開しています。付帯品の販売・取付や整備も含めてワンストップで対応できる利便性が支持されており、出張買取も行っています。年々業績を拡大し、昨年度の車両販売額は69.5億円となりました。

2 事業展開（事業別トピックス）

ブライダル事業



口コミランキングにて全式場が高評価を獲得

口コミサイト「みんなのウェディング」の満足度ランキングにおいて、当社の全式場が高い評価を受けています。
なかでも「アルカンシエル南青山」は東京都全体の料理・スタッフ満足度で1位を受賞し、他式場も料理・立地等の部門で1位を受賞しました。



luxe mariage大阪の披露宴会場改装を実施

4つある披露宴会場のうち、バリテイストの会場を開放的で非日常的な雰囲気はそのままに「モダン×ナチュラル」なデザインにリニューアルしました。
2026年1月より稼働しており、お客様の好みに幅広くお応えできるようになりました。

2 事業展開（事業別トピックス）

建設不動産事業



収益不動産物件の取得

神奈川県横浜市において、JR横浜線十日市場駅から徒歩圏という利便性の高いエリアに、安定した賃料収入が見込める物件である「メイフェア」を取得しました。
また、通期において収益不動産物件を3棟売却・2棟購入し、定期的な物件の入れ替えを行っています。



アジア・スマートシティ会議2025に出展

横浜市が主催する、環境にやさしい循環型社会の実現を目的とした「アジア・スマートシティ会議2025」に出展しました。
出展ブースでは、法人向けに展開しているフレキシブルモジュール太陽光パネルおよびスマートEV充電器PULSAR PLUSをPRしました。

3 2026年3月期 決算概要

金額単位：百万円 (百万円未満切捨)	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前年同期比(%)
売上高	37,289	39,841	106.8%
売上総利益	17,661	17,939	101.6%
販売管理費	15,864	16,111	101.6%
営業利益	1,797	1,828	101.7%
経常利益	1,895	1,903	100.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,254	1,383	110.3%

3 2026年3月期 決算概要（セグメント情報）

金額単位：百万円
(百万円未満切捨)

	25年3月期 実績		26年3月期 実績			
	売上高	営業利益	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
合計	37,289	1,797	39,841	106.8%	1,828	101.7%
カー用品	31,951	1,354	32,626	102.1%	1,178	87.0%
ブライダル	4,241	238	4,342	102.4%	283	118.9%
建設不動産	1,084	34	2,853	263.1%	203	594.3%
その他	12	173	19	157.4%	168	97.0%
連結調整	—	▲3	—	—	▲5	—

3 2026年3月期 決算概要（貸借対照表の主な増減）

金額単位：百万円
(百万円未満切捨)

	25年3月期実績		26年3月期実績		前期末比増減
流動資産	11,862	42.2%	11,248	40.4%	▲613
固定資産	16,270	57.8%	16,609	59.6%	338
資産計	28,133	100.0%	27,857	100.0%	▲275
流動負債	7,767	27.6%	6,003	21.6%	▲1,763
固定負債	4,653	16.5%	4,797	17.2%	143
負債計	12,421	44.1%	10,801	38.8%	▲1,620
純資産計	15,711	55.9%	17,056	61.2%	1,344
負債・純資産計	28,133	100.0%	27,857	100.0%	▲275
一株当たり純資産(円)	10,701.70		11,490.08		788.38
自己資本比率(%)	55.2%		60.1%		4.9%

3 2026年3月期 決算概要（キャッシュフローサマリー）

金額単位：百万円 (百万円未満切捨)	25年3月期 実績	26年3月期 実績	前年同期比増減
営業活動によるCF	1,485	2,382	897
投資活動によるCF	▲492	▲834	▲342
財務活動によるCF	▲1,037	▲1,461	▲424
現金及び現金同等物の 期末残高	1,369	1,455	86

キャッシュフローの主な内訳

営業活動によるCF	・税金等調整前当期純利益の計上による約20.5億円の収入 ・減価償却費の計上による約6.6億円の収入
投資活動によるCF	・有形固定資産の取得による約9.7億円の支出
財務活動によるCF	・短期借入金の純減による14.7億円の支出

4 2027年3月期 業績予想

金額単位：百万円
(百万円未満切捨)

	25年3月期 実績	26年3月期実績		27年3月期予想	
			前年同期比		前年同期比
売上高	37,289	39,841	106.8%	40,400	101.4%
営業利益	1,797	1,828	101.7%	1,840	100.6%
経常利益	1,895	1,903	100.4%	1,890	99.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,254	1,383	110.3%	1,230	88.9%

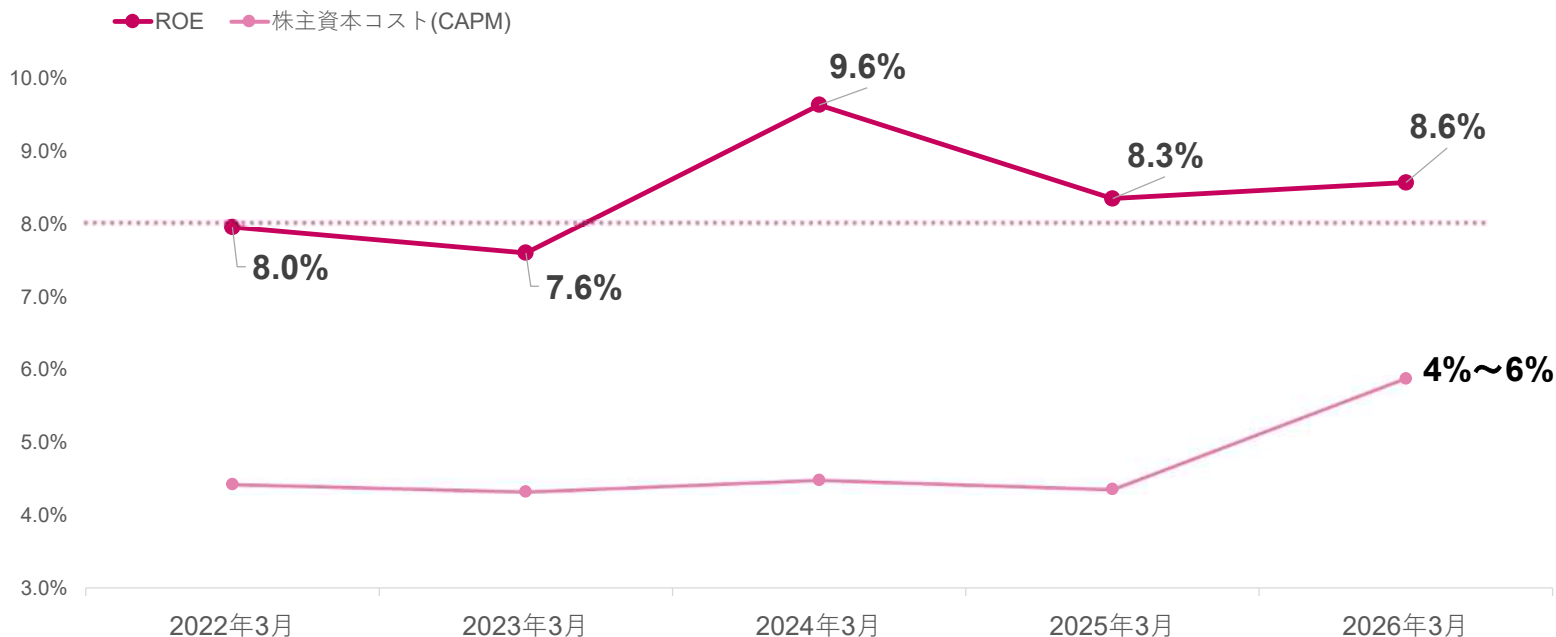
2027年3月期の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善が続くことで、景気は緩やかに回復していくことが期待されます。しかしながら国際情勢の不安定化およびそれに伴う資源価格の変動による国内外の景気下振れリスクに加え、物価の上昇による消費者心理の冷え込みも懸念されるなど、その先行きは非常に不透明な状況が続くものと予想されます。

5 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

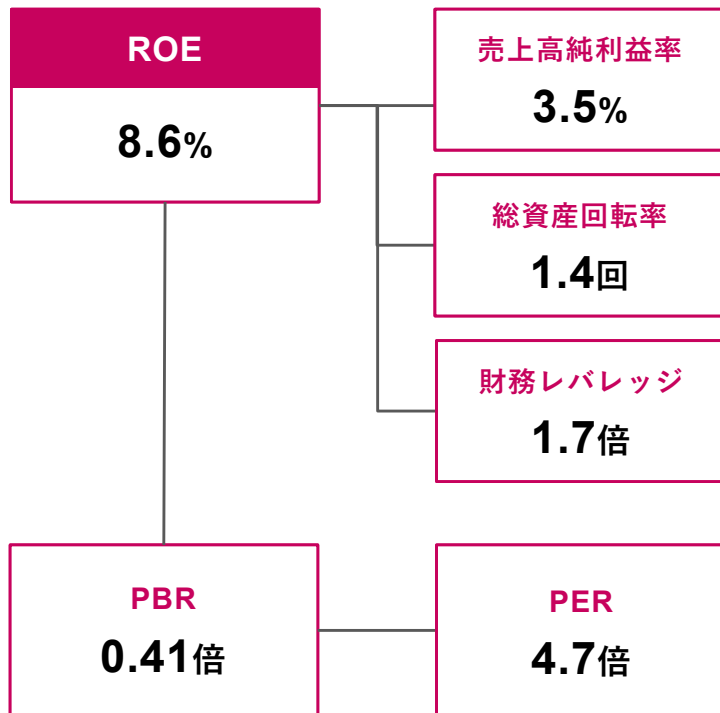
- 当社ではROEが継続的に株主資本コスト（CAPM）を上回る水準を維持しています。
- 企業価値の持続的な成長を目指し、ROEを安定的に8%以上に保つことを目標としています。

ROEと株主資本コスト

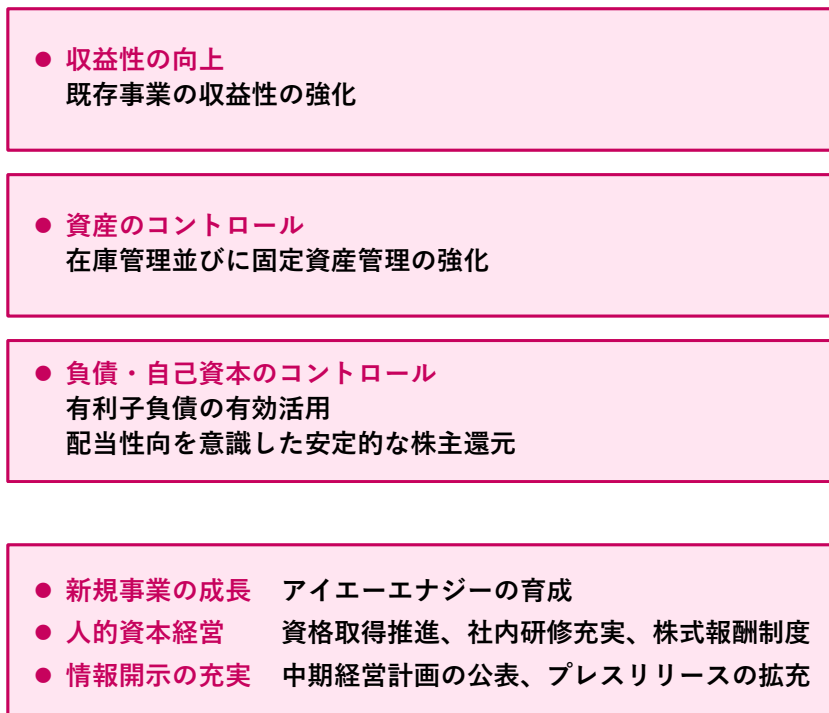


5 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析（2026年3月期）

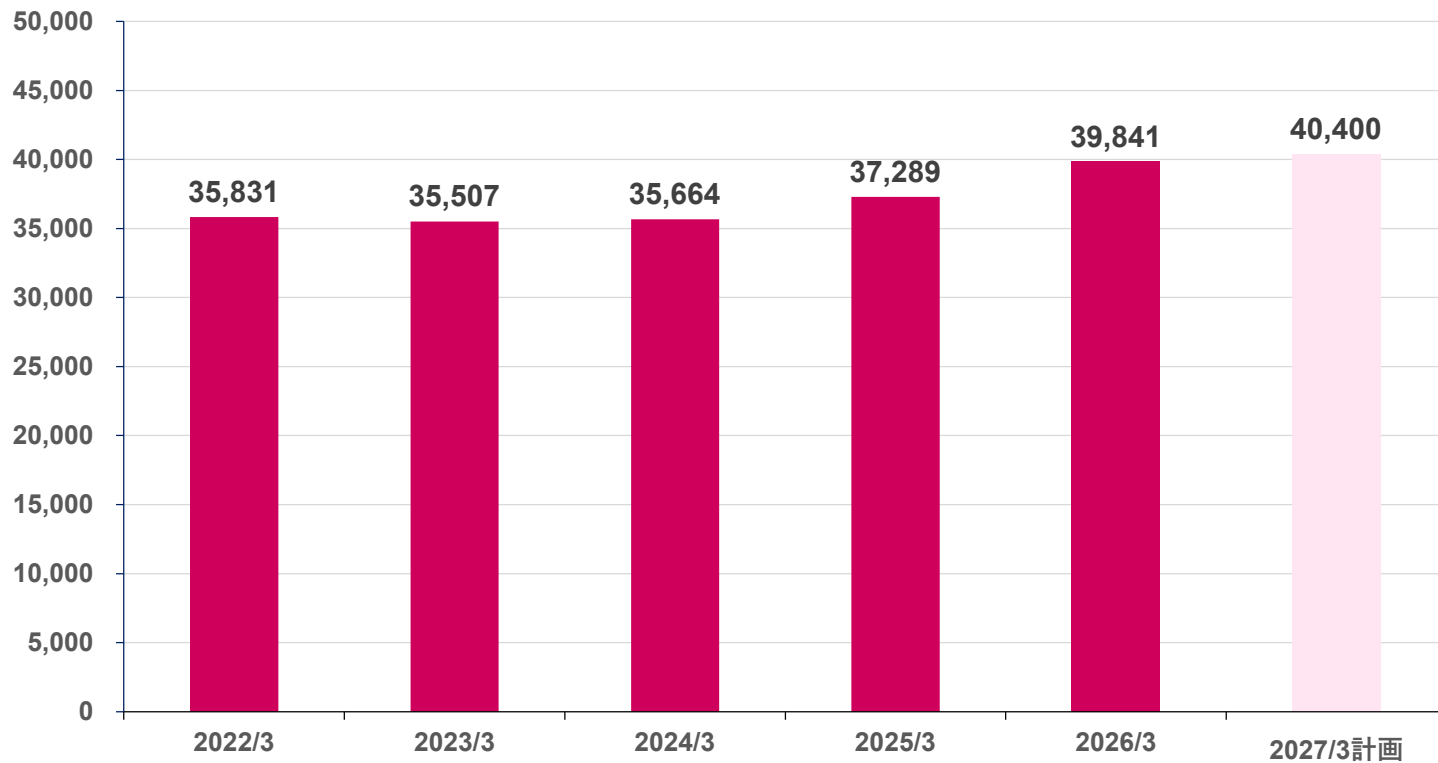


今後の取り組み



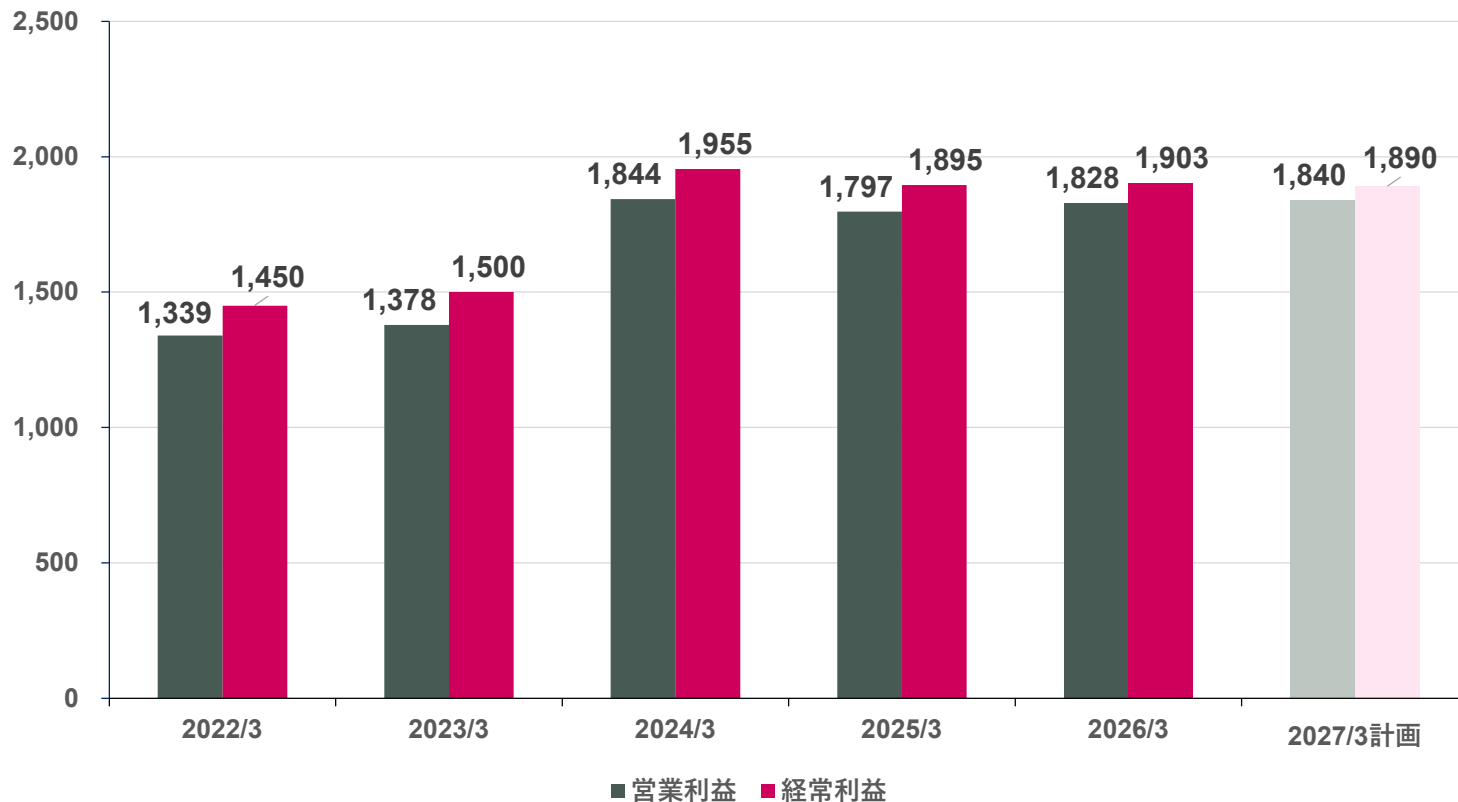
6 参考資料（売上高の推移）

単位：百万円

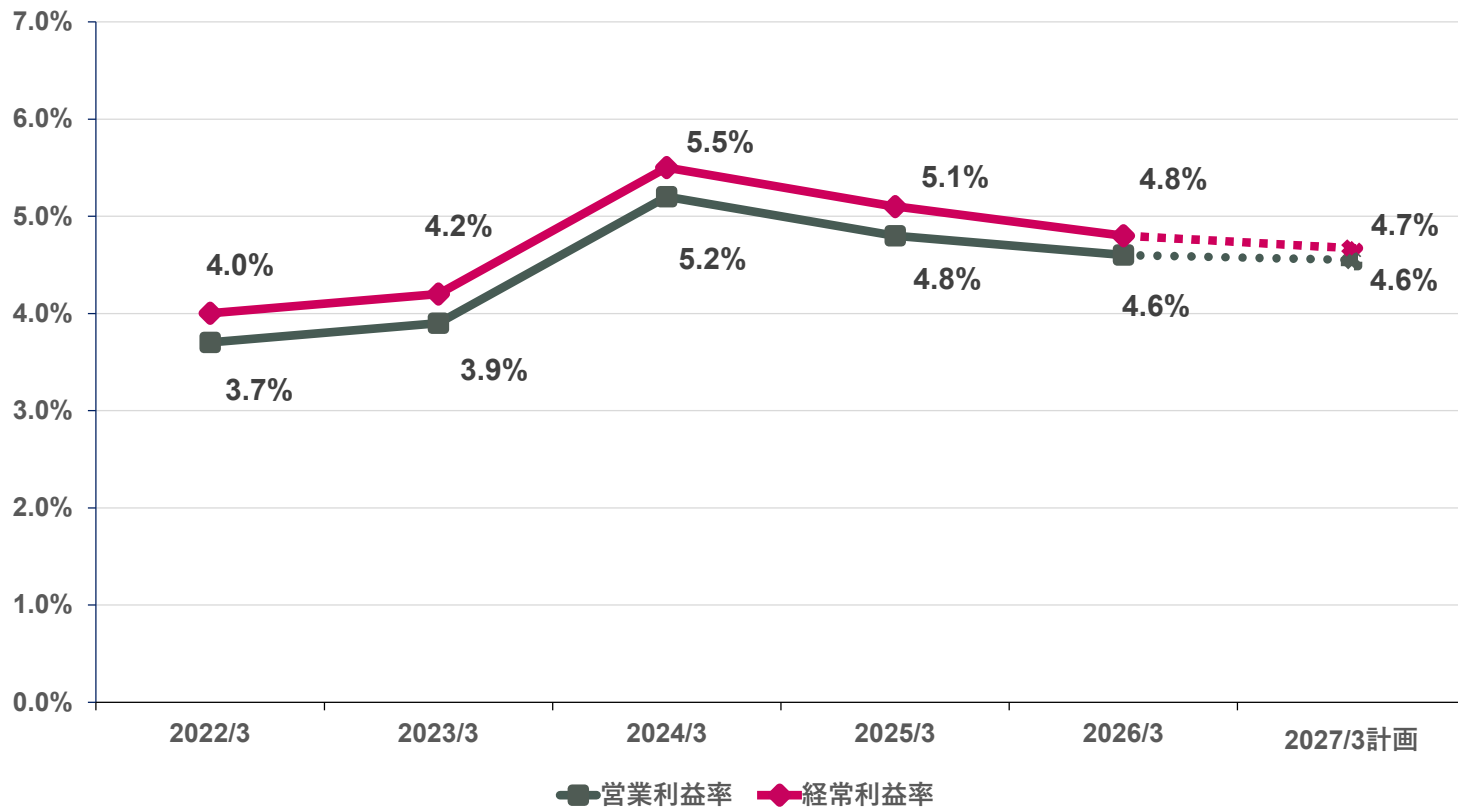


6 参考資料（営業利益・経常利益の推移）

単位：百万円

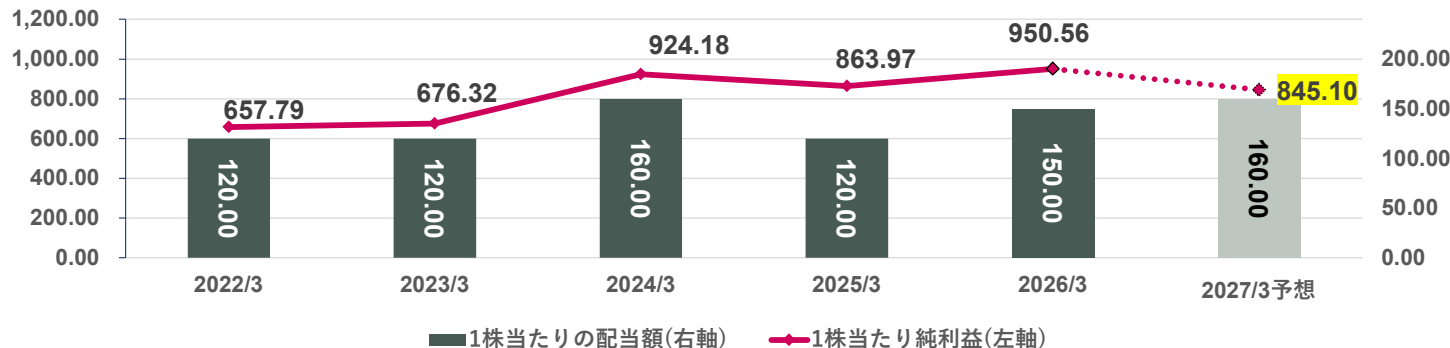


6 参考資料（営業利益率・経常利益率の推移）



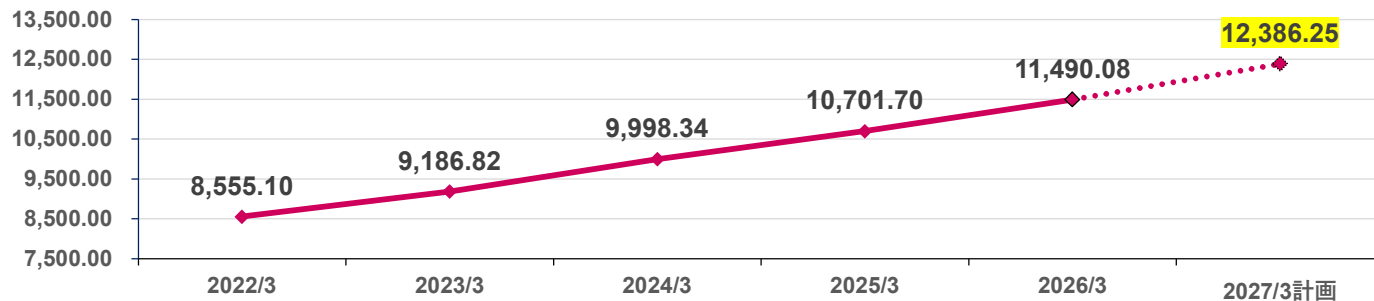
6 参考資料（1株当たり主要指標の推移）

金額単位：円



1株当たり純資産

金額単位：円



期末発行済株数（株）	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
※自己株式控除後	1,471,933	1,452,403	1,452,343	1,452,301	1,458,106	(1,458,106)

おわりに

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としたものではありません。

お問合せ先

経理財務部

TEL 045-821-7500